

おおむた

輝

人き

大牟田手話の会「ありあけ」副会長
大牟田市ボランティア連絡協議会 会長

杉野 有美子 さん



手話で「I LOVE YOU」

“伝えたい”の
気持ちが大切です



災害時の支援も重要だと、防災士の資格も取りました。

ミニ手話教室については、「広報
おおむた」4月15日号を参照。
または、障害者協議会へ問い合わせ
てください。 ☎57-7161

平成6年に手話奉仕員養成講座を受講し、福祉の世界に関わるようになりました。手話でのコミュニケーションを楽しみむ一方、障害福祉の環境が十分でないことを知り、障害当事者の人への「理解と支援」を第一に活動を続けています。手話の会は、当事者の皆さんとの週一回の例会（意見交換会）と手話通訳の派遣が主な活動です。通訳士となった今でも、正しく通訳できているか不安になるときもありませんが、やりがいを感じて頑張っています。昔と比べると障害を取り巻く環境は良くなりましたが、まだ十分とは言えません。もっと当事者の皆さんと交流する人が増え、現状を知ってほし

いと思えます。そのため、学校で子どもたちと当事者の皆さんとの交流する機会があるのはいいですね。昨年は天領小学校の子どもたちが、市制100周年記念ソング「ずっとずっと」を手話で披露してくれました。本当にうれしかったです。手話をもっと身近に感じてもらおうと、数年前から「ミニ手話教室」を開いています。今年も6月に行うので、多くの人に参加してもらいたいです。私の場合は、手話をきっかけにして広く福祉のことを学ぶことが出来ました。生きづらさを感じている人がいたら、みんなで支え合う、もっとやさしいまちになってほしいですね。

押し花文化 のふるさと・おおむた

作品名 花車
作者 草野 文子



艶やかな大輪の花を咲かせるボタン。圧倒的な存在感はその花言葉のとおり「風格」を感じさせます。日差しに透けるような花びらが重なり、その姿は華麗です。

新緑まぶしい5月、わたしたちは新しい時代を迎えます。その門出を祝い、人々が美しく心を寄せ合う未来を願いましょう。

大牟田押花の会

編集後記

▼公務員は異動が付き物。私も4月から新たな職場で日々勉強中です▼地域や学校で頑張る人のことやまちの魅力に気付かせてもらった3年間でした▼これから大好きなこのまちで頑張ります(梨)

▼令和元年最初の「広報おおむた」で広報紙作成担当者デビューとなりました▼カメラも編集ソフトも初心者の私▼ゼロからのスタートですが、大牟田の魅力を伝えられるように頑張ります(井)